

令和6年度高齢者保健事業について

第3期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき高齢者保健事業を実施します。

○令和6年度高齢者保健事業における取組（第3期データヘルス計画個別事業）

項 目	取 組 の 内 容
重点項目	
高齢者の保健事業と介護 予防の一体的な実施の推 進	○市町村の一体的実施の取組支援 ○健康づくりの普及啓発
個別項目	
適正受診・適正服薬の推進	○健康相談指導
健康診査・歯科健診	○健康診査の実施 ○歯科健診の実施
医療費適正化の推進	○医療費のお知らせの発行 ○ジェネリック医薬品の利用促進
市町村との連携・支援	○市町村との意見交換 ○市町村の健康増進事業への経費補助 ○市町村の取組に対するインセンティブの交付

1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進＜重点項目＞

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」は、令和２年度から市町村に委託して実施しています。

後期高齢者は複数疾患の合併やフレイル（サルコペニア等のロコモティブシンドロームを含む）、認知症の進行など、心身の状況の個人差が大きくなり、多病・多剤処方の状態に陥るなど、健康上の不安が大きくなります。こうした不安を取り除き、住み慣れた地域で自立した生活ができる期間を延伸し、ＱＯＬの維持向上を図るためには保健事業と介護予防を一体的に実施し、高齢者の健康支援を行うことが必要です。

市町村は、住民に身近な立場で保健事業と介護予防を展開していることから、事業実施主体となり、広域連合はその取り組みがさらに推進するよう、市町村の支援体制を強化します。

（１）市町村の一体的実施の取組支援

【事業目的】

事業を推進するために、住民に身近な立場で保健事業や介護予防を実施している市町村に委託し、その市町村の取組を支援することで、健康寿命の延伸を目指すこととします。

【事業概要】

一体的実施とは、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、市町村において、国保データベース（ＫＤＢ）システムを活用し、地域の健康課題を分析した上で、地域の医療関係団体等と連携を図りながら、保健事業（疾病予防・重症化予防）と介護保険の地域支援事業（介護予防・フレイル予防）等を一体的に実施することで、フレイルのおそれのある高齢者を包括的に支援していく仕組みづくりを行うことです。

その実施にあたっては、医療専門職が、ＫＤＢシステムを活用し、低栄養防止・重症化予防等や適正受診等の促進のための訪問指導、健康状態が不明な高齢者等に対するアウトリーチ支援等を行う個別支援（ハイリスクアプローチ）と、地域の健康課題をもとに、通いの場等において、フレイル予防の普及啓発活動等の積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）を組み合わせで行います。

市町村が円滑にこれらの事業を実施できるよう、広域連合において、市町村職員が知識習得を図るための研修の開催や、意見交換、相談・助言を行うとともに、データ分析を行い、事業に有用なデータを提供します。また、有識者からの助言・指導等の調整を行います。併せて、事業実施に必要なデータが得られるよう、健診受診率向上のための支援も行います。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	研修会開催回数	2 回	2 回	2 回
	2	データ提供回数	4 回	6 回	8 回
	3	第三者との会議・研修回数	4 回	4 回以上	4 回以上
	4	ハイリスクアプローチに関する評価指標			
		支援対象者のうち、支援できた者の割合			
		【低栄養】	22.5%	26.5%	29.5%
		【口腔】	38.2%	42.2%	45.2%
		【重複頻回・多剤投薬等】	85.1%	85.5%	85.8%
		【重症化予防（糖尿病性腎症）】	27.3%	31.3%	34.3%
		【重症化予防（その他）】	45.7%	49.7%	52.7%
		【健康状態不明者対策】 ※現状把握できた者の割合	52.5%	56.5%	59.5%
	5	ポピュレーションアプローチに関する評価指標			
		実施した通いの場数（箇所）	909	1,341	1,530
		参加人数（累計）	27,247	40,230	45,900

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	ハイリスクアプローチに関する評価指標			
		【低栄養】			
		体重が維持(±0.9kg)・改善(+1kg) できた者の割合	72.5%	74.5%	76.0%
		低栄養傾向（BMI20 以下）の者の 割合	73.5%	71.5%	70.0%
		低栄養（BMI18.5 未満）の者の割 合	48.8%	46.8%	45.3%
		1年後の要介護認定の状況 ※要介護認定状況が維持改善 した者の割合	94.3%	95%以上	95%以上

【口腔】			
後期高齢者の質問票（④咀嚼機能、⑤嚥下機能のいずれか「はい」と）回答した者の割合	54.5%	52.5%	51.0%
1年後の要介護認定の状況 ※要介護認定状況が維持改善した者の割合	96.1%	95%以上	95%以上
【重複頻回・多剤投薬等】			
（重複頻回受診） 介入後3ヶ月の受診状況（受診医療機関数、受診回数） ※抽出基準以上の者の割合	100%	92.0%	86.0%
（多剤投薬） 介入後3ヶ月の処方状況（薬剤数） ※抽出基準以上の者の割合	80.5%	80.1%	79.8%
【重症化予防（糖尿病性腎症）】			
HbA1c \geq 8.0%の者の割合 (R3)	11.4%	10.9%	10.6%
（受診勧奨：未受診者） 対象者のうち、受診した者の割合	27.6%	29.6%	31.1%
（受診勧奨：治療中断者） 治療中断者のうち、健診又は受診につながった者の割合	60.0%	60.4%	60.7%
【重症化予防（その他）】			
適切なサービス（医療機関・専門職・地域支援事業等）へつながった者の割合	39.0%	41.0%	42.5%
（身体的フレイル） （基礎疾患保有＋フレイル） 後期高齢者の質問票の抽出基準該当者の割合	59.3%	57.3%	55.8%
1年後の要介護認定の状況 ※要介護認定状況が維持改善した者の割合	91.7%	90%以上	90%以上
（コントロール不良者） 検査値が抽出基準以下になった者の割合 (R3)	28.4%	30.9%	32.4%

		【健康状態不明者対策】			
		健診受診した者の割合	10.9%	14.9%	17.9%
		医療・介護サービス等が必要と判断される者のうち、医療・介護サービス等につながった者の割合	23.4%	25.4%	26.9%
	2	ポピュレーションアプローチに関する評価指標			
		フレイルに対する理解度	89.4%	89.8%	90.1%
		後期高齢者の質問票においてフレイルリスクがある者の割合	84.1%	82.1%	80.6%

	項目	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	研修会の開催	前年度アンケート結果や一体的実施の取組状況等から適切なテーマを検討し講師を選定することで、満足度の高い研修となるようにする。また、市町村間の情報交換により、モチベーションの維持・向上を図る。
	データ提供	健康診査・歯科健診結果は、県全体の特徴や市町村または二次医療圏による特徴、課題等を分析して提供する。 ハイリスク者は市町村ごとに対象者名簿を提供し、取り組みの種類を増やす。 その他必要に応じてデータ提供を行うことで課題分析を充実させ、市町村における事業企画につなげる。
	市町村の取組支援	書面または訪問等により、市町村の実施状況をヒアリングすることで問題解決の支援を行うとともに、評価指標の設定等について助言を行う。
	第三者との連携・助言	生活習慣病に係る事業実施に際し、保健事業支援・評価委員会や大学等の有識者から企画段階で助言を受け、市町村における事業推進へつなげる。 糖尿病性腎症重症化予防の事業実施に際し、埼玉糖尿病対策推進会議と連携し、事業報告を行うとともに助言を受け、市町村における事業推進へつなげる。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none"> 一体的実施事業は市町村に委託して実施。 研修や事業の推進に当たり、埼玉県国保医療課や関係課及び埼玉県国民健康保険団体連合会と連携を図る。 埼玉県医師会などの医療専門団体と適宜連携を図り、助言を得るとともに事業実施への協力を求める。

(2) 健康づくりの普及啓発

【事業目的】

フレイルの予防に役立つ自主的な健康づくりの普及啓発をすることとします。

【事業概要】

ポピュレーションアプローチのひとつとして、75歳を迎えて被保険者となる方や、通いの場等で被保険者に対し、フレイル予防に関するリーフレットを配布します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	配布部数	113,031	114,000	115,000

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	75歳の歯科健診受診率	11.1%	13.1%	14.6%

	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	<ul style="list-style-type: none">フレイルの予防に役立つ自主的な健康づくりの普及啓発を目的としたリーフレットを毎年作成する。75歳を迎えて新たに被保険者となる方や、通いの場等で被保険者に配布するなど、リーフレットの積極的な活用を促し、フレイル予防の普及啓発につなげる。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none">通いの場を通じた健康づくりの普及啓発という観点から、市町村と連携の上、広域連合で原案の作成を行い、民間事業者へ委託して実施。新たな被保険者へ市町村から送付を行う際の通信運搬費（重量区分変更による差額に限る。）は、補助金として広域連合が市町村に交付する。介護部門等と連携し、通いの場等を通じて配布するなど、リーフレットの効果的な活用に努める。

2 適正受診・適正服薬の推進

【事業目的】

適正受診と適正服薬についての相談・指導により、被保険者の健康上の不安を解消するとともに、薬物有害事象（ポリファーマシー）の防止等、被保険者の健康の保持増進と医療費の過剰な支出を抑制することとします。

【事業概要】

重複・頻回受診、重複・多剤服用等の被保険者に対する相談指導および、かかりつけ薬局の普及啓発を、民間委託により実施します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	実施案内発送者割合（発送数）	0.44% (4,323)	0.32% (3,911)	0.23% (2,903)
	2	相談指導実施者割合（人数）	2.8% (120)	4.8% (188)	6.3% (183)

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	相談指導を受けた人の改善割合	71.2%	76.0%	80.0%
	2	重複・多剤投与者数（対被保険者 1万人）	194	174	159

	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	<ul style="list-style-type: none">レセプトデータから、重複・頻回受診、重複・多剤投与がある者に対し、事業の案内を送付。希望者に対し、医療専門職が相談指導を実施。指導前後の受診状況及び投薬状況や医療費の変化を調査し、効果測定を実施。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none">民間事業者に委託して実施。埼玉県医師会、埼玉県薬剤師会と適宜連携を図り、助言を得るとともに事業実施への協力を求める。

3 健康診査・歯科健診

(1) 健康診査の実施

【事業目的】

生活習慣病やフレイルの兆候を早期に発見し、重症化予防や健康管理に役立てることとします。

【事業概要】

市町村への委託により、健康診査を実施します。受診率向上のため、受診券の個別送付や未受診者への受診勧奨の実施などの取組を促進します。また、健診結果を基に、県全体の特徴や市町村または二次医療圏による特徴、課題等を分析して、その結果を市町村へ提供し、一体的実施での活用を推進します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	受診券個別送付実施市町村数	59	61	63
	2	未受診者対策実施市町村数	19	44	63

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	【再掲】 健診受診率	35.6%	40.0%	43.0%
	2	受診率 20%未満の市町村数	8	4	0

	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	<ul style="list-style-type: none">市町村に委託して実施する。実施時期や実施方法は市町村が関係機関と調整の上、決定する。市町村との契約において、個別送付に係る経費（郵送料）を含める。後期高齢者保健事業等補助金で、未受診者への受診勧奨の経費を交付する。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none">市町村に委託して実施。市町村から各都市医師会等へ再委託して実施。

（２）歯科健診の実施

【事業目的】

口腔機能（嚥下機能）の低下に伴うフレイルの兆候を早期に発見し、重症化予防や健康管理に役立てることとします。

【事業概要】

前年度に 75 歳及び 80 歳に到達した被保険者を対象として、埼玉県歯科医師会への委託により歯科健診を実施します。また、健診結果を基に、口腔機能（嚥下機能）の低下がみられ、フレイルリスクの高い被保険者のデータを市町村に提供することで、口腔に関する一体的実施を推進するとともに、フレイル対策の取組を促進します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	歯科健診に関する広報実施 市町村数	54	63	63

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	歯科健診受診率	10.6%	12.5%	14.0%
	2	一体的実施で歯科健診結果を 活用した取組実施市町村数	9	18	27

	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	<ul style="list-style-type: none">対象者に受診券を個別送付。健診は埼玉県歯科医師会会員の医療機関で個別受診。健診結果からフレイルリスクの高い者を広域連合で抽出し、市町村にデータを提供し、一体的実施の取組を促す。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none">健診は埼玉県歯科医師会に委託して実施。受診券作成は民間に委託。市町村に広報の協力依頼。

4 医療費適正化の推進

(1) 医療費のお知らせの発行

【事業目的】

被保険者一人ひとりにかかった医療費を通知することで、自身の健康及び医療費についての関心を深めてもらうこととします。また、不正請求の発見につなげることとします。

【事業概要】

医療給付を受けた該当者に対し、医療費のお知らせを発行します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	医療費通知発送	医療給付を受けた 該当者全員に発送 (2,935,791)	医療給付を受けた 該当者全員に発送	医療給付を受けた 該当者全員に発送

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	医療費通知発送に伴う 相談件数	40	46	48

	実施内容(評価内容)
プロセス (取組内容)	・ レセプト情報に基づき、該当者全員に対し、発行する。

	実施内容(評価内容)
ストラクチャー (体制)	・ 民間事業者に委託して実施。

（２）ジェネリック医薬品の利用促進

【事業目的】

ジェネリック医薬品への切り替えを促すことで医療費の適正化を図ることとします。

【事業概要】

ジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担額の削減額が一定以上見込まれる被保険者に対し、差額通知を送付することで切り替えを促します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	差額通知送付件数	69,786	85,000	100,000

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	ジェネリック医薬品使用割合※	81.2%	81.5%	82.0%

※広域連合の事業における数量シェア

	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	<ul style="list-style-type: none">切り替えによる一部負担金の削減額や通知発送前のジェネリック使用率に応じて、効果が見込まれる送付対象者を抽出し、差額通知を送付。切り替えによる一部負担金の削減額は、対象者数や効果予測などから決定する。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none">民間事業者に委託して実施。埼玉県医師会、埼玉県薬剤師会と連携を図り、助言を得るとともに事業実施への協力を求める。

5 市町村との連携・支援

(1) 市町村との意見交換

【事業目的】

広域連合と市町村が連携して高齢者保健事業を推進するために、市町村の意見を十分に聴取し、取り組みに反映させることとします。

【事業概要】

主管課長会議や市町村への照会等により、保健事業の実施状況を調査するとともに意見照会を行います。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	市町村への意見照会や会議開催の回数	6回	6回以上	6回以上

項目	No	評価指標
アウトカム 評価指標	1	市町村が円滑に事業推進を図ることができる。

	実施内容（評価内容）
プロセス （取組内容）	<ul style="list-style-type: none">保健事業の実施体制や内容について、市町村担当者と書面等による意見交換を実施する。また、必要に応じて市町村訪問等を行う。運営検討委員会、主管課長会議において、意見交換を実施する。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー （体制）	<ul style="list-style-type: none">効率よく意見聴取するために、会議や調査等を実施する機会に合わせて意見交換する。意見交換や調査結果を提供することで、市町村及び広域連合が事業目的等を共有し、より良い事業展開を図る。

（２）市町村の健康増進事業への経費補助

【事業目的】

市町村が地域の実情を踏まえて実施する健康増進を目的とした取組を支援することとします。

【事業概要】

国から交付される特別調整交付金（保険者インセンティブ分含む）を活用し、市町村が実施する事業に対し、「後期高齢者保健事業等補助金交付要綱」に基づき、実施に要した費用の一部を補助します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	補助金交付市町村数 (健康教育、健康相談)	19	31	40
	2	補助金交付市町村数 (その他健康増進事業)	7	32	50

項目	No	評価指標
アウトカム 評価指標	1	市町村が円滑に事業推進を図ることができる。

	実施内容（評価内容）
プロセス (取組内容)	・ 市町村が実施する事業について、実施計画提出、交付申請、実績報告を受けて交付。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー (体制)	・ 交付額は、国の交付基準に基づき設定。 ・ 広域連合長が認める事業については、独自に追加・上乗せ可能とする。

（３）市町村の取組に対するインセンティブの交付

【事業目的】

市町村による被保険者に対する重症化予防・健康づくりの取組や医療費適正化の事業実施を推進し、後期高齢者医療制度の保険者インセンティブ獲得による財源の確保を目指します。

【事業概要】

健診受診率向上や重症化予防の取組など、評価指標に定めた項目に基づき、前年度の取組状況を評価して交付します。

【評価指標及び目標値】

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトプット 評価指標	1	インセンティブ交付 市町村数	—	10	10

項目	No	評価指標	現状値 (R4)	目標値	
				R8(中間)	R11(最終)
アウトカム 評価指標	1	一体的実施のハイリスク アプローチの、1市町村あ たりの平均取組事業数	2.1	3.2	4.6
	2	国保の保健事業・介護保険 の地域支援事業との連携 実施市町村数	(栄養・口腔) 15/20 (重症化予防：その 他の生活習慣病) 5/10 (健康状態不明者) 25/31	各項目 8割以上	各項目 8割以上

	実施内容（評価内容）
プロセス (取組内容)	・ 市町村が実施する事業について、当該年度実施分について採点し、翌年度に交付。

	実施内容（評価内容）
ストラクチャー (体制)	・ 市町村の評価指標は、国のインセンティブ評価指標に準じて設定。